

---

---

## 研究活動報告（2021/1－2022/12）

（50音順）

飯倉 江里衣 助教

<著書>

飯倉江里衣『満洲国軍朝鮮人の植民地解放前後史—日本植民地下の軍事経験と韓国軍への連続性—』有志舎, 2021年2月

<研究活動>

①学会発表

- 1) 「書評報告 樋口雄一『植民地支配下の朝鮮農民—江原道の事例から』」（朝鮮史研究会関西部会3月例会, Zoomによるオンライン開催）, 2021年3月27日.
- 2) “The "Left-wing" Activities by the Koreans from the Manchukuo Imperial Army after Colonial Liberation”（韓国・慶北大学校史学科BK21 第1回 国際学術大会「경계를 넘어선 사람들（境界を超えた人々）Across the Borders: Ideology」, 慶北大学校+Zoomによるオンライン同時開催）, 2022年6月10日.

<学会・研究会活動>

- ①「満洲の記憶」研究会企画運営委員（2013年7月～）.
- ②アジア民衆史研究会運営委員（2013年7月～）.
- ③日本韓国研究会運営委員・歴史世話人・例会委員（2021年1月～）, 例会委員長（2022年9月～）.
- ④韓国・満洲学会国際理事（2021年3月～）.
- ⑤日本植民地研究会編集委員（2021年4月～）.
- ⑥朝鮮史研究会関西部会幹事（2021年9月～）.
- ⑦韓国・独立記念館国外資料収集委員（2022年11月～）.

<その他>

- ①市民講座講演：「『満洲国』における朝鮮人の抗日闘争と抗日部隊鎮圧」, 駐仙台大韓民国総領事館オンライン講演会, 2021年12月9日.
- ②連載：「『連帯の歌』としての少女時代『また巡り逢えた世界』／“연대의 노래” 로서의 소녀시대 ‘다시 만난 세계’」, 朝日出版社ウェブマガジン『あさひてらす』内連載「マニマニ教えて！今の韓国ヨギヨギ～」, 2022年10月10日.
- ③連載：「フェミニズム小説『82年生まれ, キム・ジヨン』を読もう／페미니즘 소설 ‘82년생 김지영’을 읽자」, 朝日出版社ウェブマガジン『あさひてらす』内連載「マニマニ教えて！今の韓国ヨギヨギ～」, 2022年10月31日.

---

---

ウィリアムズ, エリザベス・アン (WILLIAMS, Elisabeth Ann) 講師

<論文>

"Desire and the Construction of Masculine Identities among Young Japanese Men with International Experiences." *Japanese Studies*, vol. 42, no. 2, published online: 9 Aug., 2022. <https://doi.org/10.1080/10371397.2022.21108776>.

<研究活動>

① 学会発表

- 1) "Exploring linguistic diversity in Japan as a method to teach theories of bilingualism." Japanese Association of Language Teachers (Toyohashi Chapter), ゲストスピーカー, Zoomによるオンライン開催. 2022年1月19日.
- 2) "Barriers to findings a home in Japanese academia: International students and academic harassment." Living on the Edge学会 (Zoomによるオンライン開催), 2022年5月21日.
- 3) "Exploring the maternity care experiences of non-Japanese women in Japan." 異文化コミュニケーション学会第37回年次大会 (Zoomによるオンライン開催). 2022年11月26日.

② 競争的獲得資金

1) 科学研究費補助金

「エスニシティとジェンダーの交差性からみる在留外国人の精神的健康」(研究課題番号 21K03097), 研究分担者, 2021年4月～2023年4月.

<学会・研究会活動>

① 所属学会・研究会

- 1) Japan Association for Language Teachers
- 2) 異文化コミュニケーション学会
- 3) Japanese Association for College English Teachers

<その他>

- ① WHOLE/ホール上映会と監督ディスカッションイベント (於: 神戸女子大学須磨キャンパス), 2022年12月19日.
- ② TABUNKO (多様な家族を支援する団体) イベントとワークショップの開催
  - 1) 「多様性と異文化理解」のワークショップ (於: 京都国際交流協会), 2022年8月27日
  - 2) バイリンガル読み聞かせイベント (於: 神戸国際コミュニティーセンター), 2022年11月19日.
  - 3) 子育ての経験を共有するイベント (於: 神戸国際コミュニティーセンター), 2022年12月17日

---

---

## 莊 千慧 (CHUANG Chienhui) 准教授

### <共編書>

吉永進一, 岡本佳子, 莊千慧共編『神智学とアジア 西洋から来た〈東洋〉』青弓社, 2022年2月.

### <研究活動>

#### ⑦競争的獲得資金

- 1) 科学研究費若手研究「近代東アジアの神智学運動に関する文化交流史の研究：文化イデオロギーの再編と伝播」(研究課題番号20K13160), 研究代表者, 2020年度～2023年度.
- 2) 科学研究費基盤研究 (C)「神智学運動の戦後：日本におけるオカルティズムの展開と神智学」(研究課題番号20K00090), 研究分担者, 2020年度～2023年度.
- 3) 科学研究費基盤研究 (B)「禅からZenへ—世界宗教会議を通じた禅のグローバル化の宗教史・文化史的研究」(研究課題番号20H01192), 研究分担者, 2020年度～2024年度.

## 野口 和美 教授

### <学会発表>

Community Based Disaster Management Policy from a Gender Perspective: A Case Study of Hyogo-Prefecture, Japan presented at Taiwan Association for School of Public Administration and Affairs (TASPAA) 2022 Annual Conference, Public Policy Studies Association, Japan (PPSAJ) Session, May 28,2022, Online.

### <研究活動>

#### ①競争的獲得資金

- 2022年度行吉学園教育・研究助成費(研究部門)採択 研究課題「グローバル及びローカルレベルにおけるレジリエンスの高いガバナンスシステムの構築—パンデミック下における市民社会が構築するソーシャル・キャピタルを事例として—」
- ②令和4年度兵庫海外研究ネットワーク (HORN) 事業：チェンマイ大学公共政策研究科 Pobsook Chamchong氏の受入(2023年1月30日から2023年3月1日) 研究課題「女性の政治的エンパワメントに関する研究—兵庫県の防災・減災政策決定過程の女性参画と自治体間連携の事例研究」

### <学会・研究会活動>

日本公共政策学会 国際交流委員会委員 (2022年10月～).

---

---

## 室屋 安孝 教授

### <共著>

Aniruddha's reference to "Mañjarīkāra" fragments and their relation to Vācaspati Mīśra and Bhaṭṭa Vāgīśvara, in: Ernst Prets (ed.), *Transmission and Tradition: Quotations, Paraphrases and Allusions in Texts on Indian Philosophy*, [Beiträge zur Kultur- und Geistesgeschichte Asiens, 109; Sitzungsberichte der philosophisch-historischen Klasse, 926], Vienna: Austrian Academy of Sciences Press, 2022, 81-120.

### <研究活動>

#### ①学会発表

"On digressions in Śāntarakṣita's Vādanīyāṭīkā" (寂護著『ヴァーダ・ニヤーヤ・ティーカー』の派生的議論について), The 6th International Dharmakīrti Conference (第6回国際ダルマキールティ学会), ハイブリッド開催 (韓国・東國大學校及びZoom), 2022年8月22～26日.

②研究発表「Nyāyasāraの解脱論と已滅無—Nyāyasāraの解脱論証を読む—」, 科学研究費基盤研究 (B)「インド哲学における「無」の思想」第2回合同研究会 (Zoomによるオンライン開催), 2022年10月21日.

③科学研究費基盤研究 (B)「無の探究」

1) 第1回合同研究会参加 (Zoomによるオンライン開催), 2022年8月9日.

2) 第2回合同研究会参加 (Zoomによるオンライン開催), 2022年10月21日.

3) 第3回合同研究会参加 (Zoomによるオンライン開催), 2022年12月17日.

④科学研究費基盤研究 (C)「ディグナーガ著『集量論』における「他者のための推理」学説の生成と発展」研究集会参加 (Zoomによるオンライン開催), 2022年9月19日.

⑤科学研究費基盤研究 (C)「『集量論複注』第二章」

1) 研究集会参加 (Zoomによるオンライン開催), 2022年8月4～5日.

2) 研究集会参加 (Zoomによるオンライン開催), 2022年10月25日.

3) 研究集会参加 (Zoomによるオンライン開催), 2022年11月29日.

4) 研究集会参加 (Zoomによるオンライン開催), 2022年12月27日.

⑥インド思想史学会第29回学術大会参加 (Zoomによるオンライン開催), 2022年12月24日.

#### ⑦競争的獲得資金

1) オーストリア科学財団 (Austrian Science Fund) 補助金 (単独出版Stand-Alone Publications), "Jinendrabuddhi's Pramāṇasamuccayaṭīkā, Chapter 6" (2022年), 課題番号 PUB 945-G, 研究代表者.

2) 科学研究費補助金 (研究活動スタート支援)「ダルマキールティ著『ヴァーダ・ニヤーヤ』の総合的研究のための基盤構築」(2022～2023年度), 研究課題番号22K19978, 研究代表者.

- 
- 
- 3) 科学研究費基盤研究 (B) 「インド哲学における「無」の思想」(研究代表者：武蔵野大学丸井浩教授, 2021～24年度), 研究課題番号21H00472, 研究協力者.
  - 4) 科学研究費基盤研究 (C) 「ディグナーガ著『集量論』における「他者のための推理」学説の生成と発展」(研究代表者：筑波大学小野基教授, 2022～2026年度), 研究課題番号22K00053, 研究協力者.
  - 5) 科学研究費基盤研究 (C) 「ジネンドラプッディの『集量論複注』第二章にもとづくディグナーガ推理論の研究」(研究代表者：龍谷大学桂紹隆名誉教授, 2021～2024年), 研究課題番号21K00062, 研究協力者.

<学会・研究会活動>

- ①国際仏教学会 (International Association of Buddhist Studies)

<その他>

講演「インドとヨーロッパ～インドの聖典をめぐる東西の対話～」, 於：大学連携セミナー「神戸生涯学習カレッジ」, 2022年10月27日, コミスタこうべ (神戸市生涯学習支援センター).

## 吉岡 志津世 教授

<研究活動>

- ①アメリカ学会第56回年次大会 (中央大学多摩キャンパス, ハイブリット開催), 2022年6月4日.
- ②中・四国アメリカ文学会第50回大会 (Zoomによるオンライン開催), 2022年6月11日.
- ③日本女性学会2022大会 (Zoomによるオンライン開催), 2022年6月18日 (土)～6月19日 (日).
- ④日本学術会議公開シンポジウム「アジアから見たウクライナ戦争－世界の視線の多様性と日本の選択－」(Zoomによるオンライン配信), 2022年9月18日.
- ⑤第43回岡山英文学会大会 (Zoomによるオンライン開催), 2022年10月1日.
- ⑥2022年度TOEICセミナー「社員の自立学習を成功に導くTOEIC Programの効果的活用法」国際コミュニケーション協会主催 (Zoomによるオンライン開催), 2022年10月28日.
- ⑦大学のグローバル化 情報交換セミナー Vol. 50「外国語学部・国際学部におけるeラーニングを活用した実践～コロナ禍での授業実践と入学前課題の取り組み事例の紹介～」(アルク主催, zoomによるオンライン開催), 2022年10月28日.

※2021年研究活動報告, 略

<学会活動>

- ①中・四国アメリカ文学会評議員 (2009年6月～).
- ②日本アメリカ文学会

---

③アメリカ文学会

④日本女性学会

⑤黒人研究学会

<その他>

①「自律学習と英語多読という仕かけ」神戸女子大学教職支援センター『教職課程年報』No.15,令和3(2021)年5月, 42-43.

②「英語多読活動, はじめの一步雑感」神戸女子大学教職支援センター『教職課程年報』No.16,令和4(2022)年5月, 31-33.

③書評

吉岡葉子著『ジョイス・キャロル・オーツのアメリカー家族, 女性, 性, 黒人問題から読み解く』  
『中・四国文学研究』第58号(2022年6月), 79-81.